



(証券コード 6087)

個人投資家様向け会社説明会資料 (2020年9月期第3四半期)

2020年8月21日



株式会社アビスト

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀三丁目36番1号

TEL0422-26-5962 URL <https://www.abist.co.jp>

2020年9月期における業績について

事業等のリスク

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。なお、世界各国で感染が拡大しております新型コロナウイルスによる影響等に関しましては、政府による緊急事態宣言が解除されたものの、相当な不確実性が存在している状況が続いており、今後の業績に影響を及ぼす可能性がありますので、慎重に注視してまいります。

(2020年9月期第3四半期報告書より一部抜粋)

I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2020年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等

創業の精神、社名「ABIST」について



創業の精神

設計技術者が
設計技術者のために働き合う
設計技術者の集団を確立する

社名の由来

Ambition
ist

志(こころざし)を
成し遂げる人

事業目的、経営理念

当社は事業の基本方針を定めた3つの事業目的を掲げ、
長期的、普遍的な会社の価値観、存在理由として3つの経営理念を定めています。

事業目的

- 取引先の信頼と安心の確保に
基づくサービスの提供
- 社員の生活向上と安定の確保
 - コンプライアンス、
CSRの遵守と社会貢献

経営理念

顧客主義

取引先との共生によるパートナーシップの確保

社員主義

社員の自主自律による価値創造の確保

成果主義

機会平等と評価公平性の確保

「信頼の和の六輪づくり」

当社の大切な企業文化として、「信頼の和の六輪づくり」に取り組んでいます。



会社概要

会社名	株式会社アビスト (英訳名 ABIST Co.,Ltd.)
設立	2006年3月17日(事業開始日 1998年2月1日)
資本金	1,026百万円
本社	東京都三鷹市下連雀三丁目36番1号 トリコナ5階
代表者名	進 勝博
事業内容	工業設計技術サービス事業 【請負、技術者派遣】(機械設計開発、システム・ソフトウェア開発、電気・電子設計開発、3Dプリント造形サービス)、3D-CAD教育事業、不動産賃貸事業
事業部及び事業所	<p>【東日本事業本部】 東京第一支店、東京第二支店、東京システム支店、宇都宮営業所</p> <p>【受託設計事業本部】 東京受託室、名古屋受託室、宇都宮受託チーム、静岡受託チーム 浜松受託チーム、広島受託チーム</p> <p>【トヨタ事業本部】 第一トヨタ支店、第二トヨタ支店、静岡営業所、福岡事務所</p> <p>【西日本事業本部】 名古屋支店、京都営業所、広島支店</p> <p>【3Dプリント事業本部】 豊橋事業所、海老名事業所</p> <p>【AIソリューション事業本部】</p>
従業員数	1,245名 (2020年6月30日現在、アビスト単体)
子会社	株式会社アビストH&F(100%連結子会社)



会社沿革

年月	事項
1998年 2月	旧日本ビジネス開発株式会社 エンジニアリング事業本部を設置し、技術系のアウトソーシング事業開始
2006年 3月	JBSエンジニアリング株式会社(現株式会社アビスト)を設立し、旧日本ビジネス開発株式会社よりエンジニアリング事業譲受
2007年 2月	株式会社アビストに商号を変更
2010年 5月	本社ビル(アビストビル)の購入に伴い本社を東京都渋谷区に移転
2013年 3月	子会社として株式会社アビストH&F(現連結子会社)を設立
6月	本社事務所を東京都中野区に移転し、アビストビルは全館賃貸ビル化
12月	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場 本社を東京都渋谷区から東京都中野区へ移転
2014年 9月	東京証券取引所市場第二部へ上場市場変更
2015年 3月	3Dプリント事業を開始(神奈川県海老名市) 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
2017年 6月	受付電話ロボット「abitel(アビテル)」発売開始(コミュニケーションロボット開発・販売事業)
7月	3Dプリント事業拠点を新規開設(愛知県豊橋市)
2018年 3月	品質マネジメントシステム「EN 9100:2016」を認証取得[認証事業所:3Dプリント事業部(愛知県豊橋市)]
5月	コミュニケーションロボット開発・販売事業より撤退
2019年 3月	AIソリューション事業を開始 ベトナム法人 Rikkeisoft Company社と業務提携
5月	本社を東京都三鷹市に移転

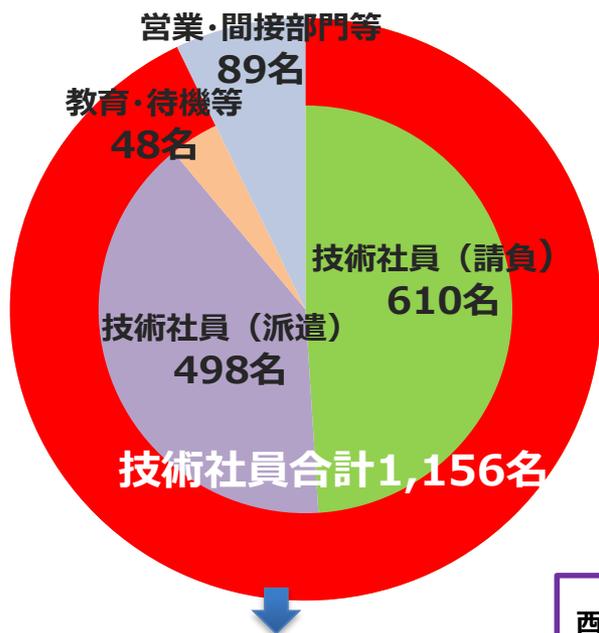
6事業本部の事業運営体制(2020年6月30日現在)

地図 CraftMAP

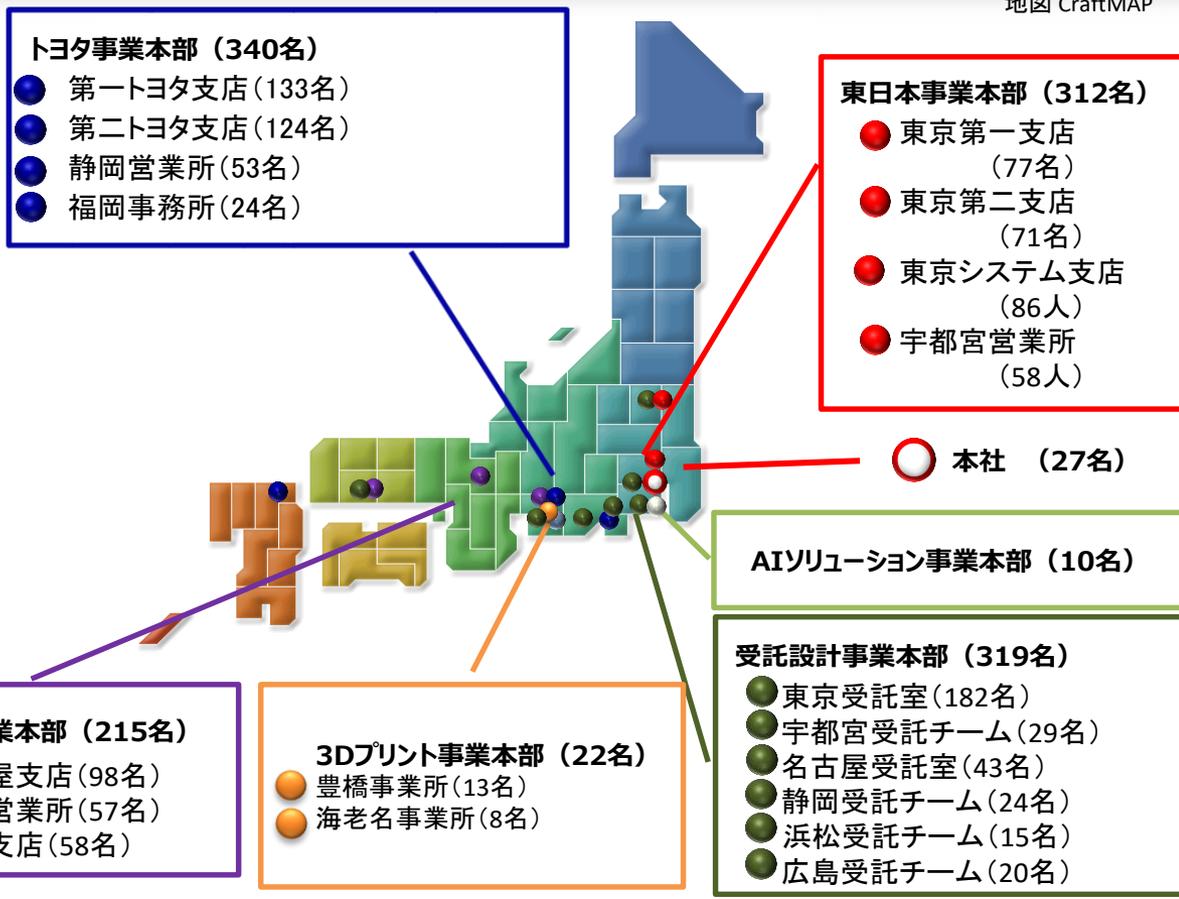
従業員構成(アビスト単体)

(2020年6月30日現在 1,245名 うち女性社員137名)

2020年度新卒社員数 115名



機械設計開発等	1,019名
システム・ソフトウェア開発等	89名
教育・待機等	48名
技術社員計	1,156名
	(うち女性社員 100名)



アビストグループの事業内容

設計開発アウトソーシング事業

3D-CADを用いた
自動車・機械等の
設計開発業務
(請負/派遣)

3D-CAD
教育業務

解析業務

システム・ソフトウェア
開発業務

その他の3つのセグメント

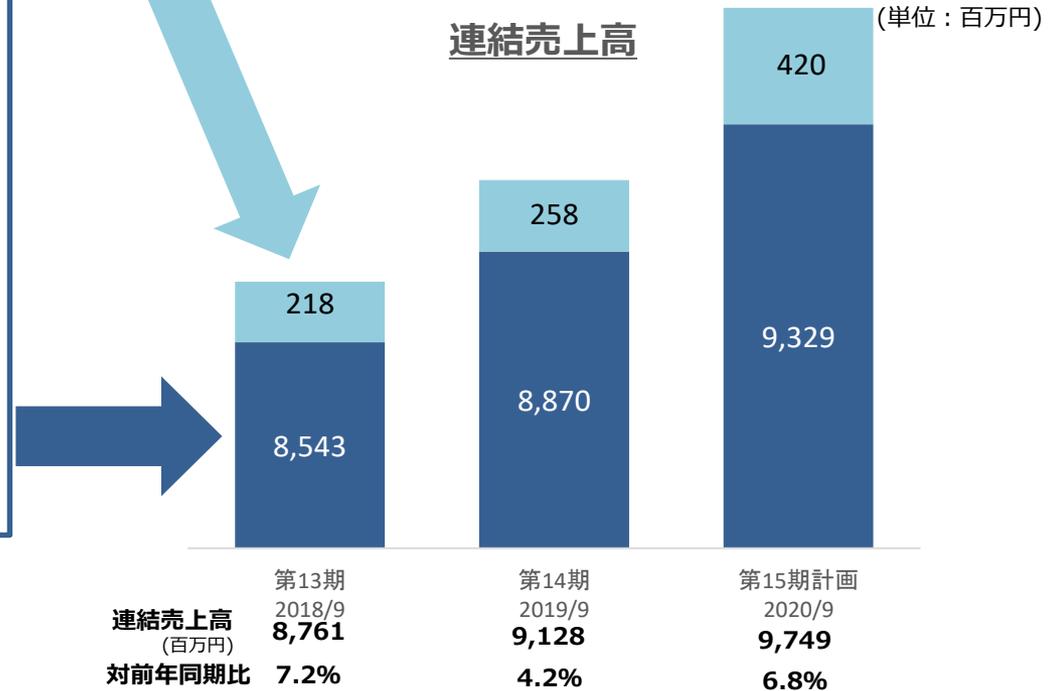
3Dプリント事業

美容・健康商品
製造販売事業
(アビストH&F)

不動産賃貸事業

連結売上高

(単位：百万円)

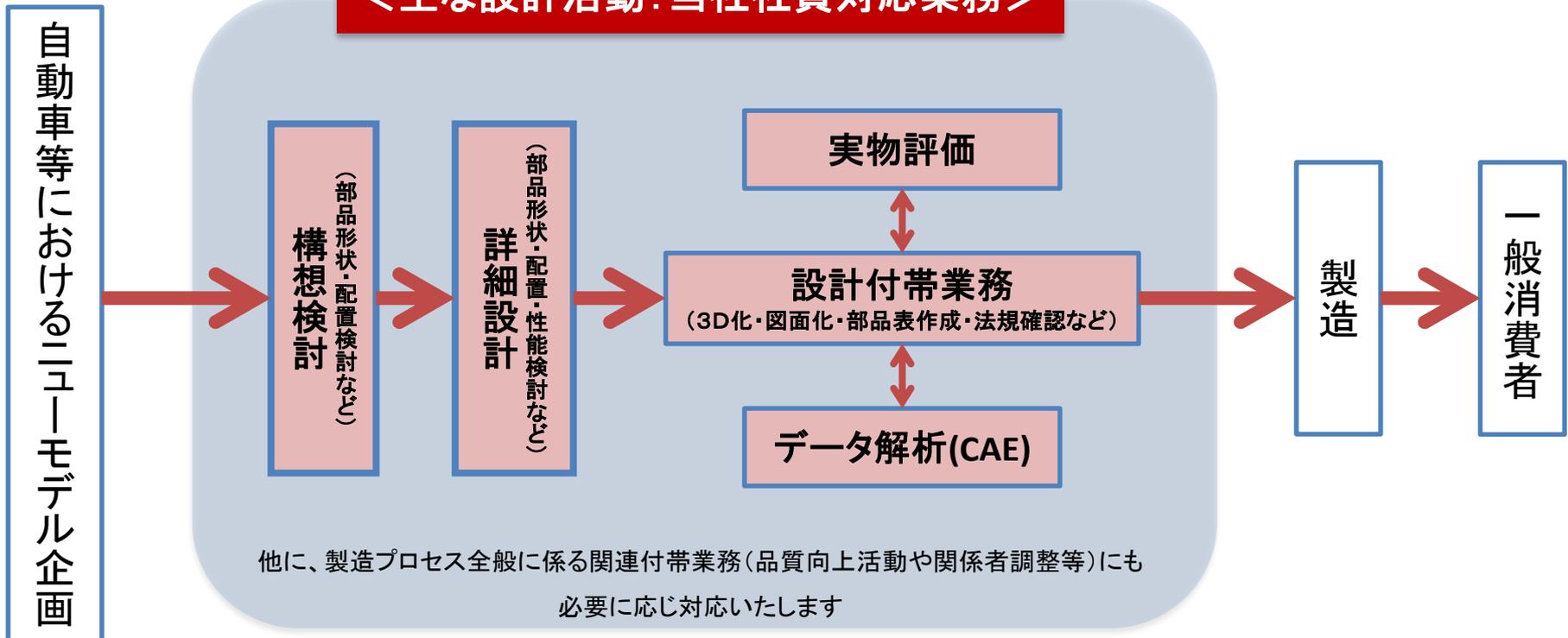


設計開発アウトソーシング事業とは

(設計開発/作図・CADオペレーション/解析・シミュレーション/評価・試験/生産技術・設備設計等)

◆3D-CADを主とした設計及び多様な付帯業務もカバー

<主な設計活動:当社社員対応業務>



得意分野は自動車用ランプ、内装、ボデー設計

ランプ



機能部品



ボデー



HV・EV
関連



内装



電装部品

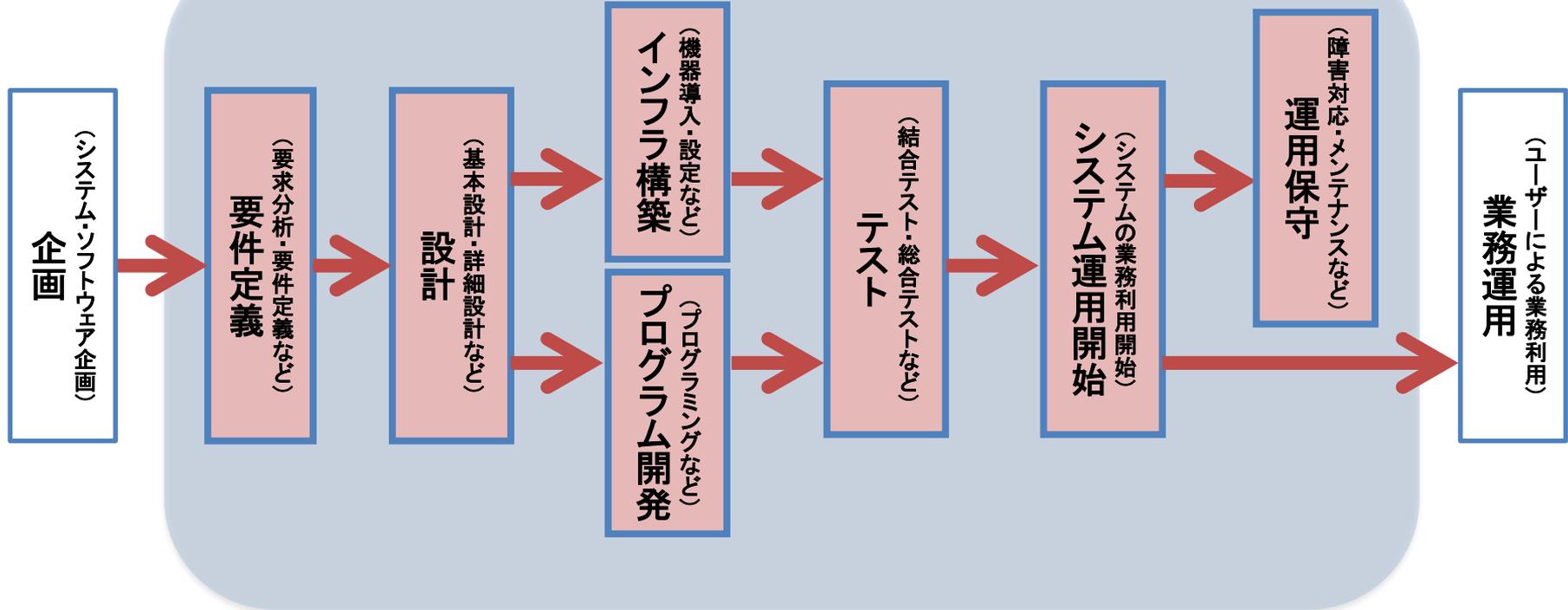


設計開発アウトソーシング事業とは

(システム・ソフトウェア開発)

◆要件定義から運用保守まで広範囲な業務プロセスをカバー

＜主な設計活動：当社社員対応業務＞



I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2020年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等

2020年9月期第3四半期は増収減益

第15期2020年9月期第3四半期(実績)

【連結】	2019年9月期 第3四半期 (百万円)	2020年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)	対通期計画 達成率 (%)	2019年9月期 通期 実績 (百万円)	2020年9月期 通期 計画 (百万円)	対通期計画 増減率 (%)
売上高	6,738	6,951	3.2	71.3	9,128	9,749	6.8
営業利益	990	687	△30.6	57.7	1,296	1,190	△8.2
経常利益	1,013	659	△34.9	53.3	1,351	1,236	△8.5
当期純利益	703	426	△39.4	49.6	949	858	△9.5
EPS(一株当たり利益)	176.85円	107.23円	—	—	269.52円	215.74円	—

【単体／連結子会社】	アビスト(単体)			アビストH&F(連結子会社)		
	2019年9月期 第3四半期 (百万円)	2020年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2019年9月期 第3四半期 (百万円)	2020年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)
売上高	6,641	6,800	2.4	123	184	49.6
セグメント利益(営業利益)	998	715	△28.4	△29	△56	-

アビスト単体(事業本部別業績)

【事業本部別】	設計開発事業本部 (東日本・西日本・トヨタ・受託設計事業本部)			3Dプリント事業本部			AIソリューション事業本部		
	2019年9月期 第3四半期 (百万円)	2020年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2019年9月期 第3四半期 (百万円)	2020年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2019年9月期 第3四半期 (百万円)	2020年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)
	売上高	6,543	6,683	102.1	87	98	112.4	0	17
営業利益	1,694	1,543	91.0	△194	△195	－	△23	△81	－



既存事業

- ・要員増による売上高向上も、コロナの影響により一人当たり売上高は減少
- ・待遇改善による人件費増
⇒結果として、増収減益

利益改善策

2020年10月より総合技術開発部を新設し、ランプ技術開発、システム技術開発、CATIA技術開発、3Dプリント技術開発の4分野の付加価値向上により高収益体制へ向けて活動



新規事業

- ・新規事業の創出・拡大に向けた投資にて営業損失

売上拡大策

- ・3Dプリンタでの部品量産に向けた営業活動中
- ・AIを活用した設計効率化、作業自動化など生産性向上に向けた開発を推進中
⇒AI構築プラットフォーム『AI-Plant Bamboo』をリリース
(31ページ参照)

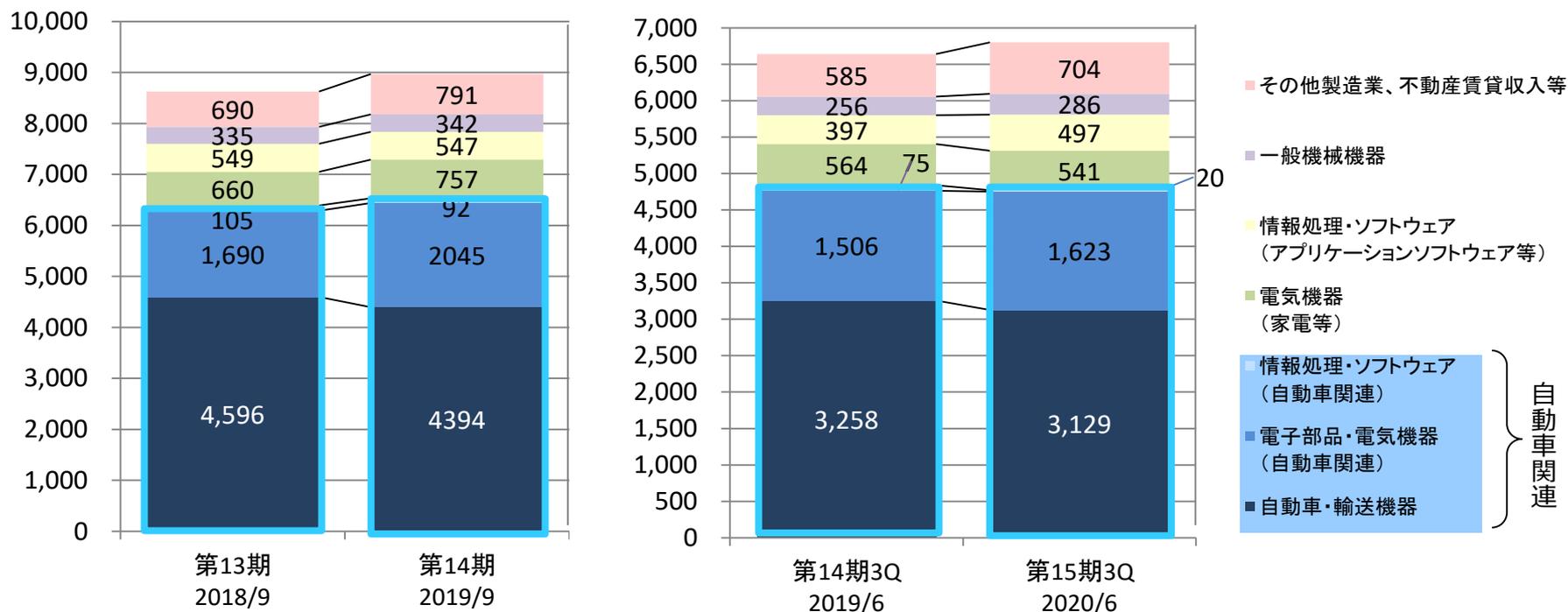
※上記は管理会計上の区分に基づく数値であり、セグメント情報と一致致しません。
※速報値であり、確定決算ベースの数値と若干異なります。



取引先業種別売上高の推移

単位:百万円

【取引先業種別売上高の推移】(アビスト単体)



	第13期 2018/9	第14期 2019/9	第14期3Q 2019/6	第15期3Q 2020/6
売上高合計	8,625百万円 (+653) 8.2%	8,968百万円 (+343) 3.8%	6,641百万円 (+283) 4.3%	6,800百万円 (+159) 2.4%
(うち自動車関連)	6,392百万円 (+452) 7.6%	6,530百万円 (+138) 2.1%	4,838百万円 (+135) 2.9%	4,773百万円 (△66) △1.4%
総売上中構成比	74.1%	72.8%	72.9%	70.2%



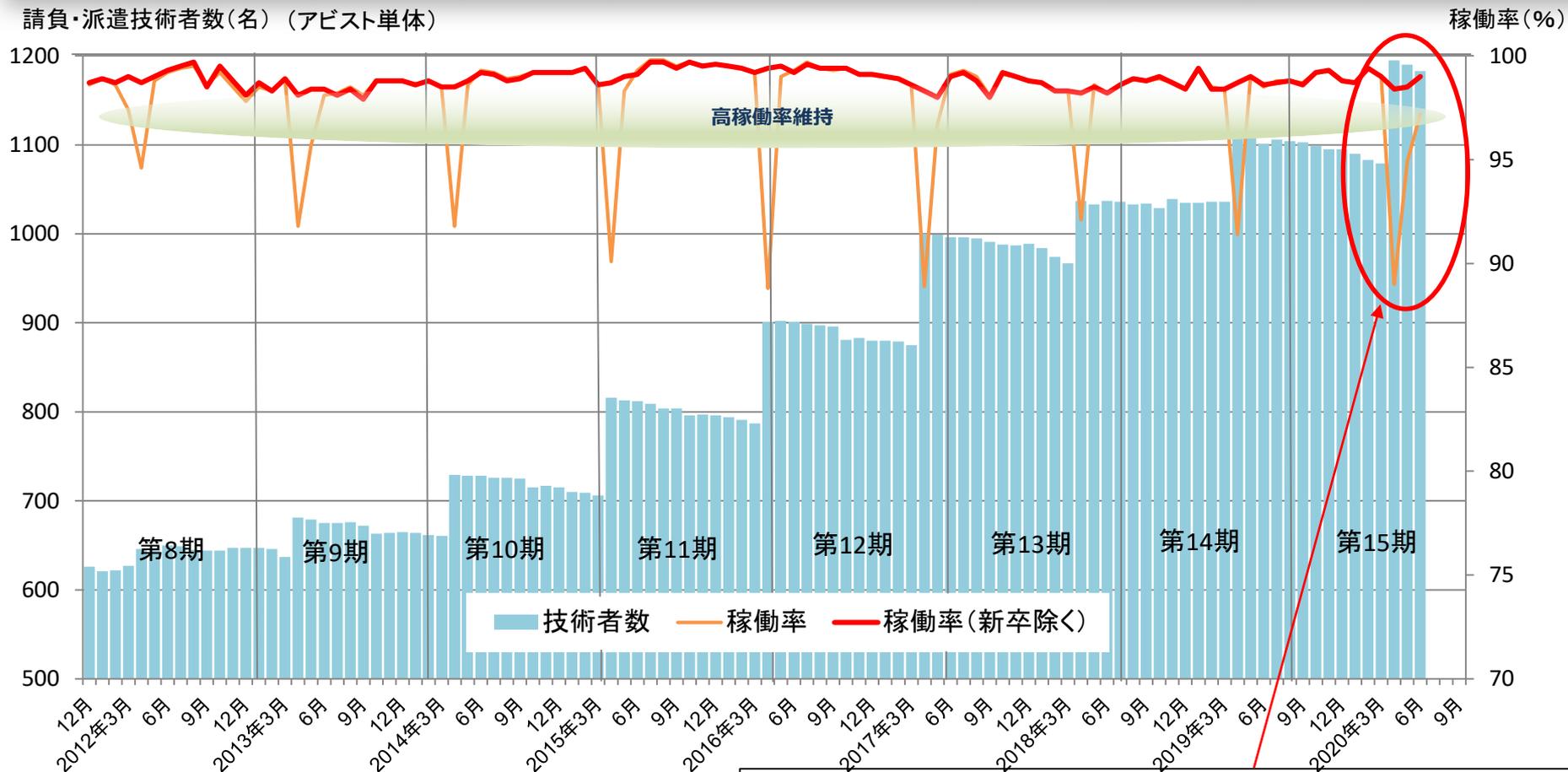
取引先上位10社 ～ 自動車関連を中心とした上位取引先が安定

※アビスト単体

第13期 (2018/9)		第14期 (2019/9)		第15期 第3Q (2020/6)
トヨタ自動車様	→	トヨタ自動車様	→	トヨタ自動車様
スタンレー電気様	→	スタンレー電気様	→	スタンレー電気様
日野自動車様	→	日野自動車様	→	日野自動車様
小糸製作所様	→	小糸製作所様	→	小糸製作所様
トヨタ自動車東日本様	↔	市光工業様	→	市光工業様
三菱電機エンジニアリング様	→	三菱電機エンジニアリング様	→	三菱電機エンジニアリング様
市光工業様	↔	トヨタ自動車東日本様	↔	MHIさがみハイテック様
MHIさがみハイテック様	→	MHIさがみハイテック様	→	トヨタ自動車東日本様
本田技術研究所様	→	本田技術研究所様	→	トヨタ車体様
日立ソリューションズ・クリエイト様	→	日立ソリューションズ・クリエイト様	→	マツダ様
5,888百万円		6,018百万円		4,389 百万円
68.3%		67.1%		64.5%

— 業績の状況 (2020年9月期第3四半期) —

新卒を除く技術者稼働率は高稼働率を維持



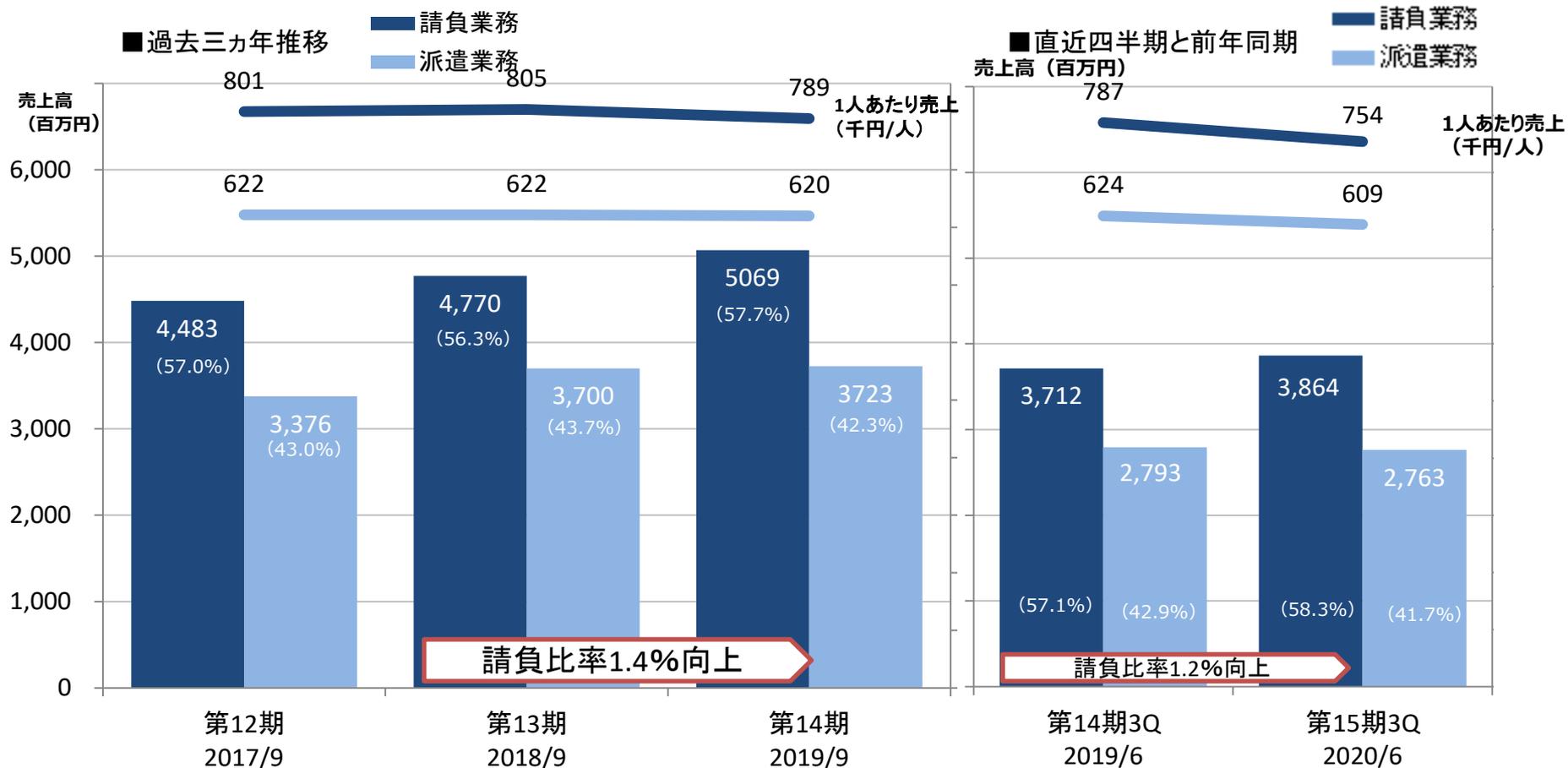
※技術者数=請負+派遣+待機、技術者数は教育研修中の者を除く。
 ※稼働率=(請負+派遣)/(請負+派遣+待機)

コロナウイルス感染拡大防止の為、新卒社員の入社前研修を本年は実施しなかったことにより配属時期がずれ込むも、7月中に例年並の水準へ移行。

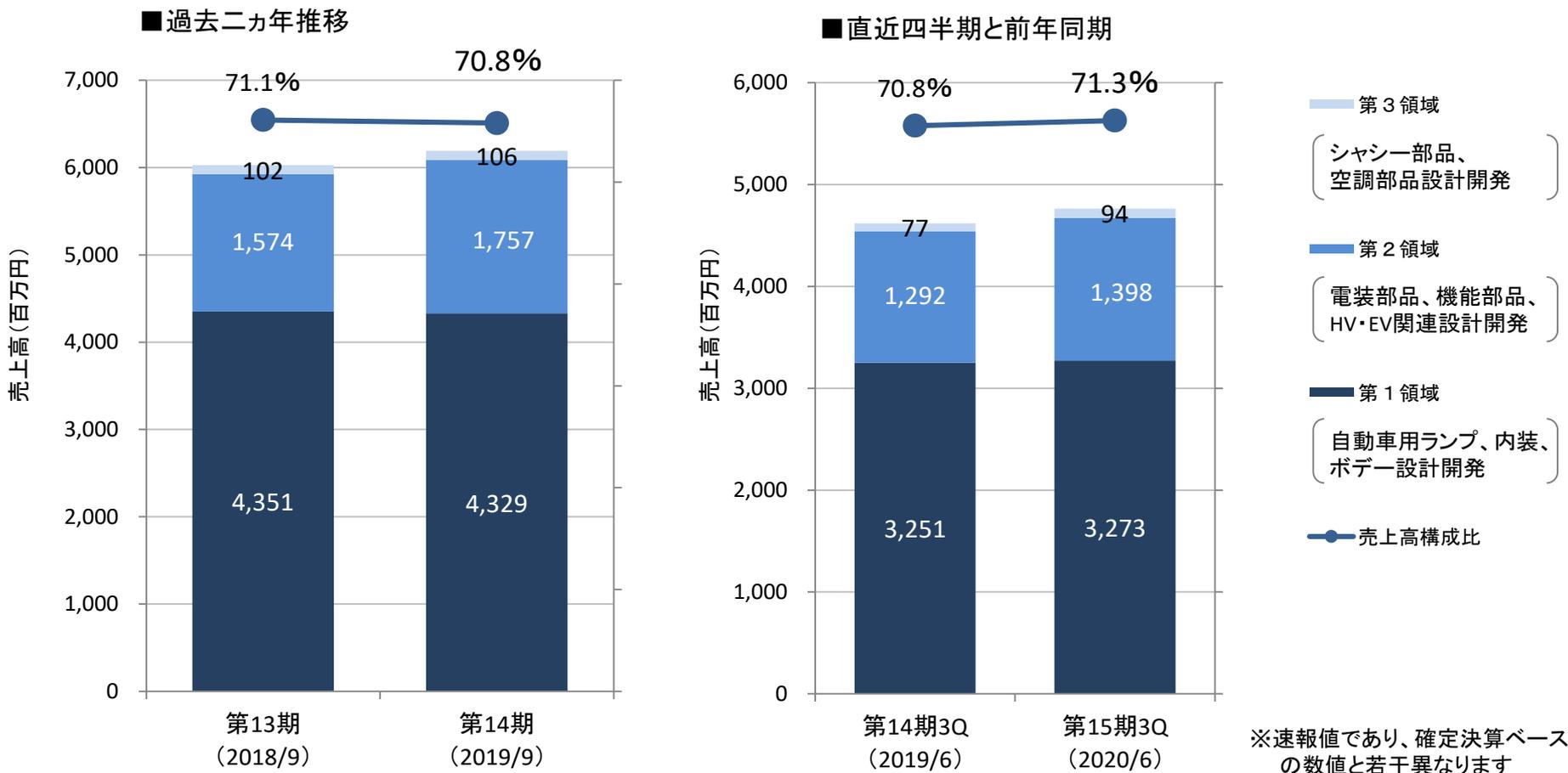


高付加価値の請負業務比率向上

派遣・請負別売上高、一人月売上高の推移(アビスト単体)



得意業務領域(コア技術領域)別売上高の推移(アビスト単体)



I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2020年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等

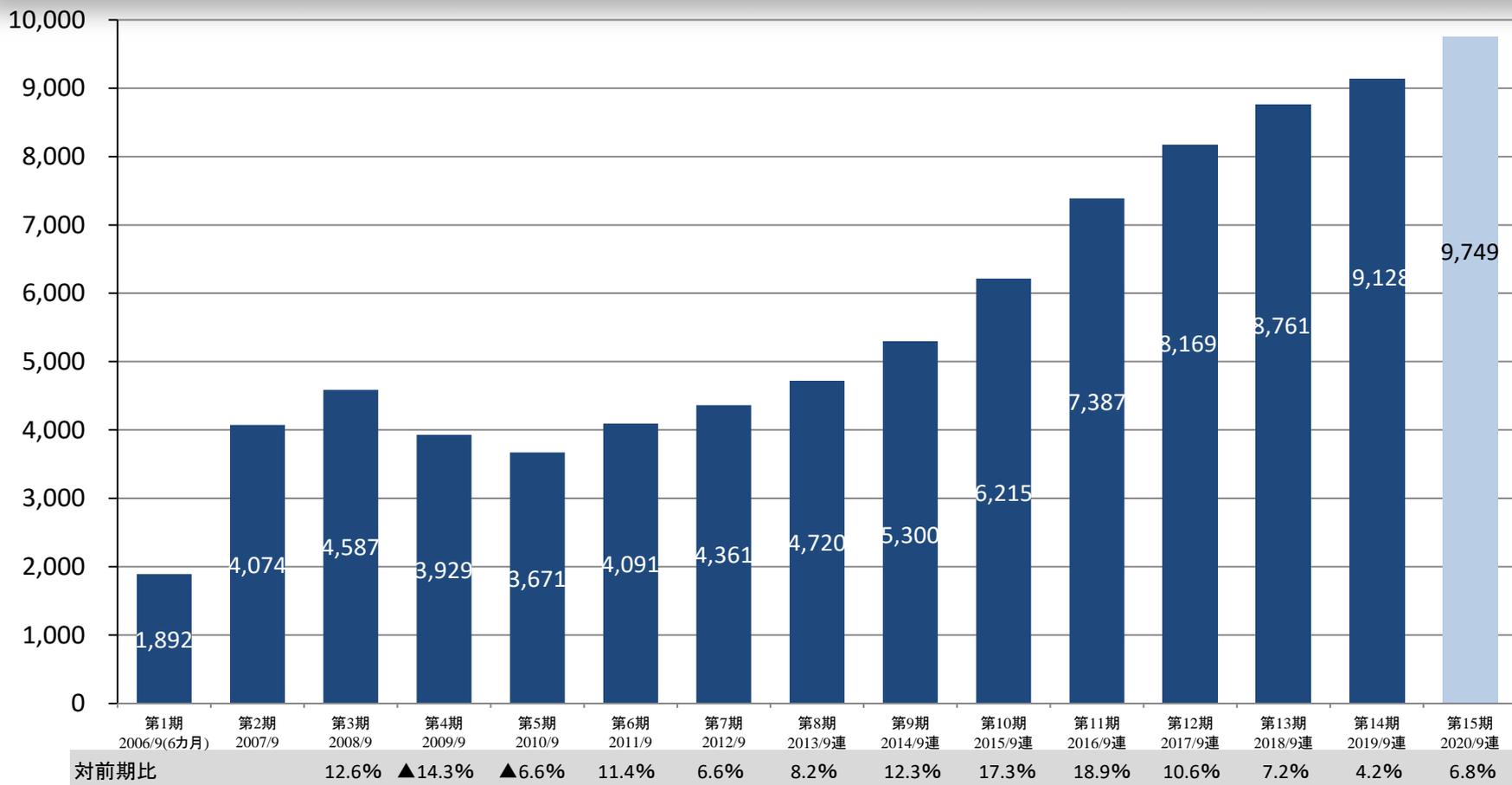
今後の成長への準備の年として計画策定

第15期 2020年9月期 通期計画

【連結】	2019年9月期 通期 実績 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2020年9月期 通期 計画 (百万円)	対前年 増減率 (%)
売上高	9,128	4.2	9,749	6.8
営業利益	1,296	▲18.9	1,190	▲8.2
経常利益	1,351	▲16.6	1,236	▲8.5
当期純利益	949	▲11.5	858	▲9.5
EPS(一株当たり利益)	238.50	—	215.74	—

【単体／連結子会社】	アビスト(単体)				アビストH&F(連結子会社)			
	2019年9月期 通期 実績 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2020年9月期 通期 計画 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2019年9月期 通期 実績 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2020年9月期 通期 計画 (百万円)	対前年 増減率 (%)
売上高	8,977	4.0	9,480	5.6	223	10.8	340	52.0
経常利益	1,350	▲14.2	1,227	▲9.1	1	—	9	—
当期純利益	948	▲13.3	850	▲10.4	0	—	8	—

売上高推移 10期連続増収、過去最高売上達成の見通し

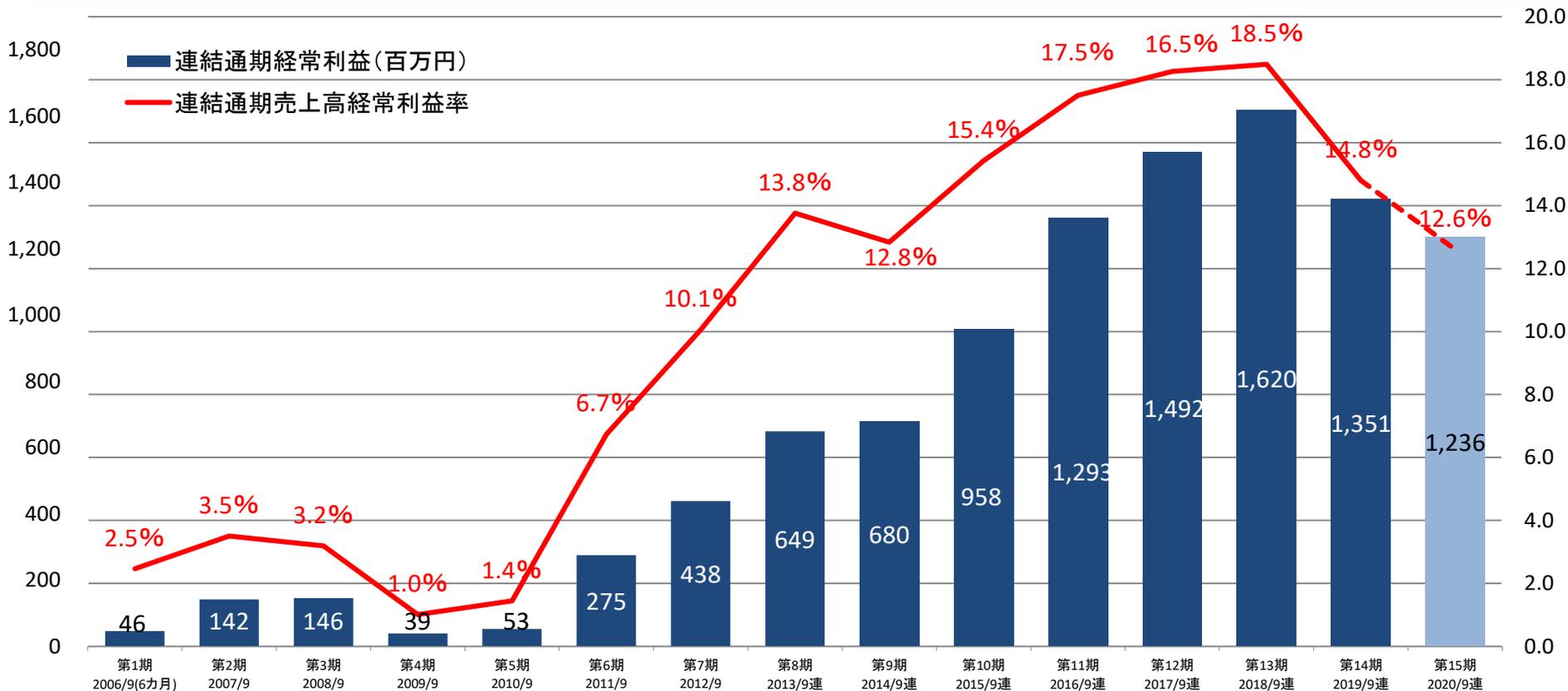


※当社では、第8期(連結)の業績・財務情報より開示しておりますが、参考のため第8期以前の情報を記載しております。また、第8期以前は非連結、第8期以降は連結ですが同一グラフ上に記載しており、第8期(連結)は、前年同期(非連結)と比較した増収率を記載しておりますのでご注意ください。

※稼働率=(請負+派遣)÷(請負+派遣+待機)、技術者数=請負+派遣+待機、技術者数には教育を含んでおりません。



経常利益推移 利益率12.6%



中期経営計画 概要

(2019年11月13日開示資料「中期経営計画ローリングに関するお知らせ」より)

	第17期 (2022年9月期)
売上高	11,470百万円
営業利益	1,400百万円
営業利益率	12.2%
経常利益	1,420百万円
当期純利益	970百万円

【主力事業である設計開発アウトソーシング事業関連】

- 人材育成、技術力底上げ等により顧客からの要求値の高まりに対応
- 付加価値の高い、新しい技術領域への進出
- 3Dプリンタでの部品量産の本格始動
- AIを活用した設計効率化、作業自動化など生産性の向上
- 請負業務割合の拡大

【その他の主な取組み】

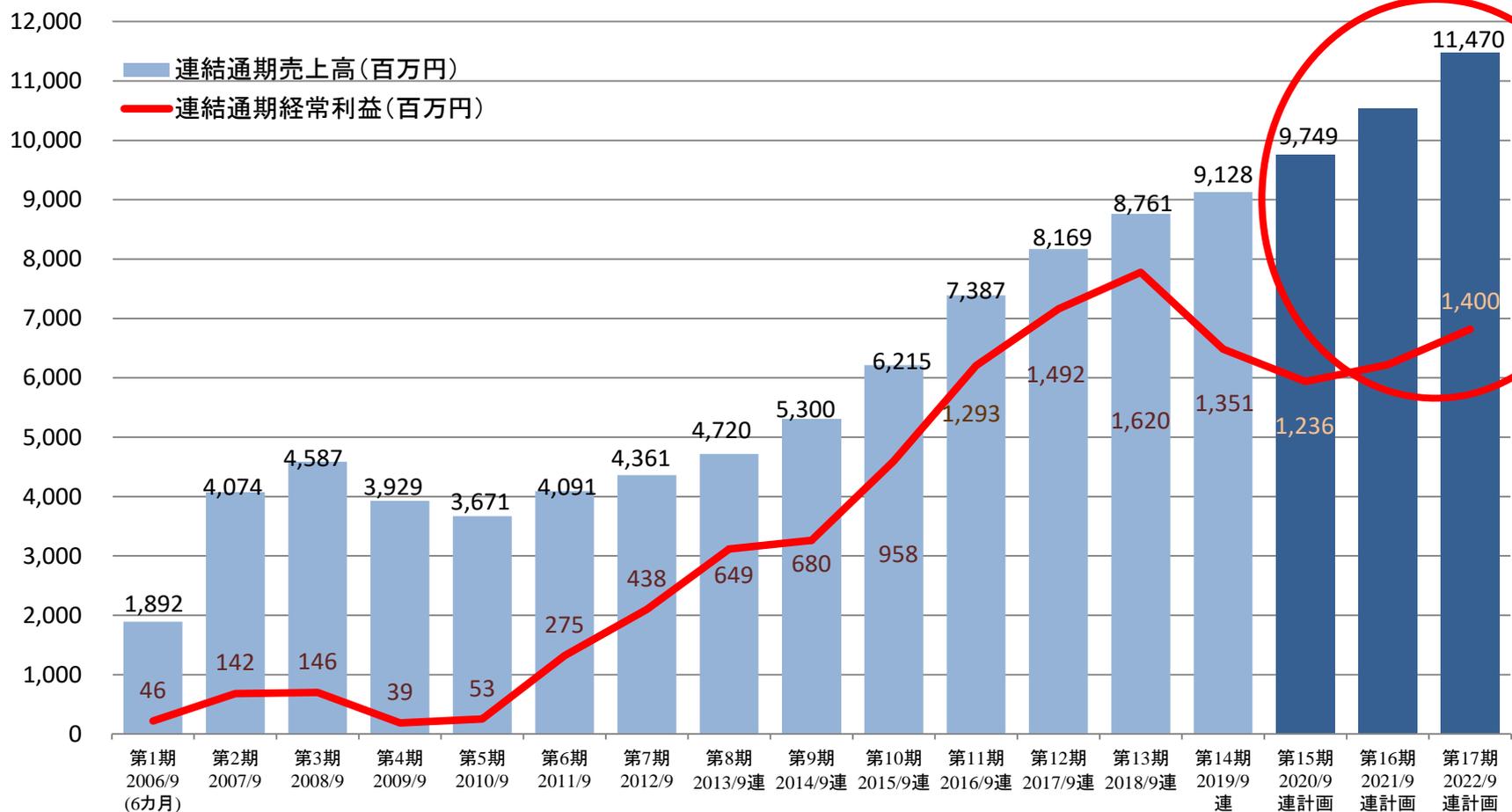
- 長く安心して働ける会社づくりの推進(待遇、福利厚生の見直し等)
- 美容・健康商品製造販売事業(アビストH&F)における新商品投入による収益拡大



— 今後の成長戦略 —

中期経営計画 2022年9月期目標：売上高114億円・経常利益14億円

(2019年11月13日開示資料「中期経営計画ローリングに関するお知らせ」より)



コア業務領域（得意分野）を伸ばし、環境変化に対応

第1コア業務領域・・・自動車用ランプ、内装、ボデー関連



第2コア業務領域・・・電装部品、機能部品、HV・EV関連



第3コア業務領域・・・シャシー部品、空調関連

■電動化、自動化、機能化が進む自動車業界大変革の時代においても、当社のコア業務領域の設計開発需要は引き続き旺盛と予測

■コア業務領域売上が設計開発売上全体の7割以上を維持するように中期経営計画を策定

※14期実績：

第1コア業務領域	49.5%
第2コア業務領域	20.1%
第3コア業務領域	1.2%
計	70.8%

海外企業との業務提携により業務効率化を推進

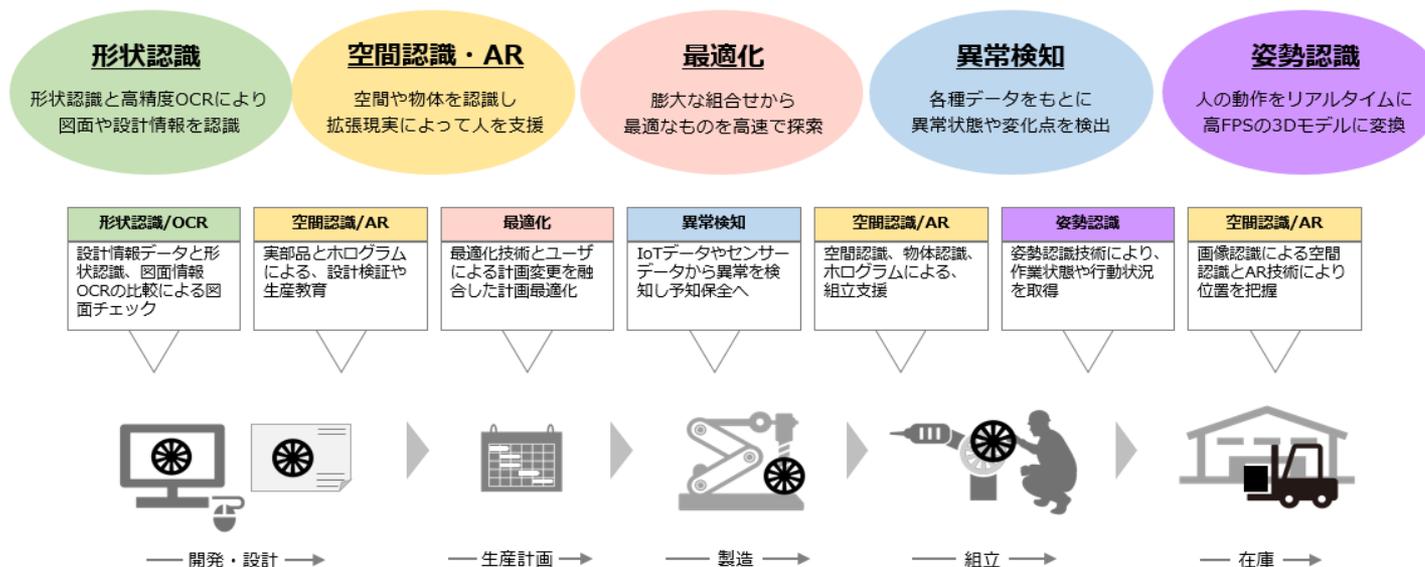
- ✓ 提携相手のRikkeisoft Company Limited は業務/金融システム、Web/クラウドシステム、組み込みシステム開発等を手がけるベトナムの大手ITアウトソーシング企業
- ✓ 2019年7月より業務委託開始

【企業概要】 RIKKEI

企業名	Rikkeisoft Company Limited (https://rikkeisoft.com/)
本社所在	ベトナム ハノイ市
設立	2012年4月
代表	代表取締役会長 Ta Son Tung
事業内容	日本市場向けITアウトソーシング事業(各種システム開発、スマートフォンアプリ開発、IoT/組み込みシステム開発等)
認証取得規格等	ISO 9001:2015 ISO/IEC 27001:2013 ベトナムTop30 ICT企業に選出 日本でのIT関連展示会への出展歴多数

AIソリューション事業を推進

- ✓ AIスタートアップ企業と提携し、創業以来携わってきたものづくり領域のノウハウにテクノロジーを組み合わせる新たな価値を創造
- ✓ トヨタ自動車様の車両認証業務について、OCR技術を利用した業務の一部自動化に向けた検討を開始（2019年11月25日ニュースリリースより）
- ✓ エスピーメディアテック様とコンピュータビジョン技術を活用した倉庫管理のための構内位置把握技術の共同開発を開始（2019年11月25日ニュースリリースより）



ものづくりの各段階で当社AIソリューションを展開予定

AI構築プラットフォームのベータ版リリース

(2020年7月16日開示資料「News Release」より)

- ✓ プログラミング不要のAI構築プラットフォーム『AI-Plant Bamboo』をリリース
専門家でなくても、機械学習モデルを構築し、予測することが可能なクラウドサービス
- ✓ 誰でも簡単に精度の良い予測を行うことで、ユーザーが持つデータに付加価値を出します



AI-Plant Bambooのページ

<https://welcome.aiplant-bamboo.com/>

設計から試作・部品製造までをワンストップで提供

- ✓ これまで当社が携わってきた「設計」「解析」に加えて3Dプリンタ活用による「試作」「部品製造」領域へ事業領域を拡大し、クライアントへ価値のあるサービスを提供



幅広いニーズに対応できる設備を導入

◆保有3Dプリンタ

事業所 (所在)	造形機種 (メーカー)	保有台数	特徴	主材質	造形サイズ(mm) (縦×横×高さ)	用途
海老名事業所 (神奈川県海老名市)	ATOMm-8000 (シーメット(日))	2台	高透明度 高耐熱	エポキシ	600×800×400	自動車用ランプ など試作
	RAFAEL550 (アスペクト(日))	1台	高耐久性 高耐熱	ナイロン	550×550×500	自動車外装/内装部品など試作
	AGILISTA (キーエンス(日))	1台	サポート材が 水溶性	アクリル	210×298×200	精密部品試作
	Connex3 (ストラタシス(米))	1台	硬さ調整可能 3種材料混合 によるカラー対応	アクリル /ゴムライクアクリル	390×490×200	精密部品試作
豊橋事業所 (愛知県豊橋市)	ProX-300 (3Dシステムズ(米))	1台	金属加工可 軽量	アルミ/ステンレス	250×250×300	精密部品試作/製造
	EOS-M290 (EOS(独))	2台	金属加工可/高耐久性 /高耐熱/耐腐食性	チタン/インコネル	250×250×325	精密部品試作/製造
	ProX-320 (3Dシステムズ(米))	3台	軽量/高耐久性/ 高耐熱/耐腐食性	アルミ/チタン /インコネル	275×275×380	精密部品試作/製造
	LUMEX Avance-25 (松浦機械製作所(日))	1台	造形と切削を融合した ハイブリッド造形機 高強度/高靱性	マルエージング鋼	256×256×300	精密部品試作/製造

トヨタ自動車様東京モーターショー出展車両に採用

(2019年11月7日開示資料「News Release」より)



トヨタ自動車株式会社様出展車両「LQ」
(第46回東京モーターショー2019にて)



当社製造部品
助手席側内装部品(ブラケット)

3Dプリンタで製造することの効果

- ①4部品一体造形
⇒部品点数削減、溶接工数・治具削減
- ②トポロジー設計織込(お客様にて対応)
- ③金型レス
⇒金型保管スペース削減、保守工数削減、
設計変更時の設計変更費用削減(金型修正無し)

自社の技術力、設備を積極的にアピール

『第12回 オートモーティブワールド』へ出展
(東京ビッグサイト、1月15日～17日)



※当社オリジナル設計の自動車ランプ



医療機関へフェイスシールドを提供

新型コロナウイルス感染症対策の為、当社3Dプリンタでウイルスの飛沫感染を予防するフェイスシールドを製造し、下記医療機関へ提供しました。

提供日	提供機関
4月22日	医療法人社団 医誠会 湘陽かしわ台病院 様
5月1日	竹川胃腸科医院 様
5月10日	へいしま歯科ファミリークリニック 様
5月11日	葉梨整形外科 様



自社商品に加え化粧品の取扱を開始



アビストH&Fでは、自社製造商品に加えて化粧品(BONOTOX社製)の販売を開始

※アビストH&Fは、BONOTOX社製品の日本販売総代理店です。



テレビショッピング番組『QVC』において
放送後に大きな反響を頂いた大人気商品



“人工皮膚”に着目した近未来エイジングケア



“2つの幹細胞”を融合した最先端エイジングケア



“2つの美肌菌”が肌で出会う進化形エイジングケア



情勢を踏まえた商品の販売にも着手



アビストH&Fでは、今後も継続的に需要が見込めるマスクや除菌水(自社製造)の販売を開始

しっかり飛沫や花粉を防ぎ通気性に優れています！

伸縮性のある素材特性で付け心地抜群！

洗えるから衛生的で経済的！



Air Cushion Mask
エアークッションマスク



除菌・消臭に適した微酸性次亜塩素酸水！
(微酸性電解水)

有機物に触れると水に戻るので安心！

認知が広まる次世代の除菌水！

安心の次亜塩素酸水は様々なシーンで活躍



飲料メーカーが造る安心の
次亜塩素酸水
(微酸性電解水)

I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2020年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等

継続的・安定的な配当と株主優待で株主還元

配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。**連結配当性向35%以上(※)**を基本的な配当政策とし、配当金額を決定していく方針です。

(※)2019年11月13日開示資料

「配当政策の変更及び剰余金の配当に関するお知らせ」より

基準期	年間配当金
令和元年9月期	102円
令和2年9月期(計画)	102円

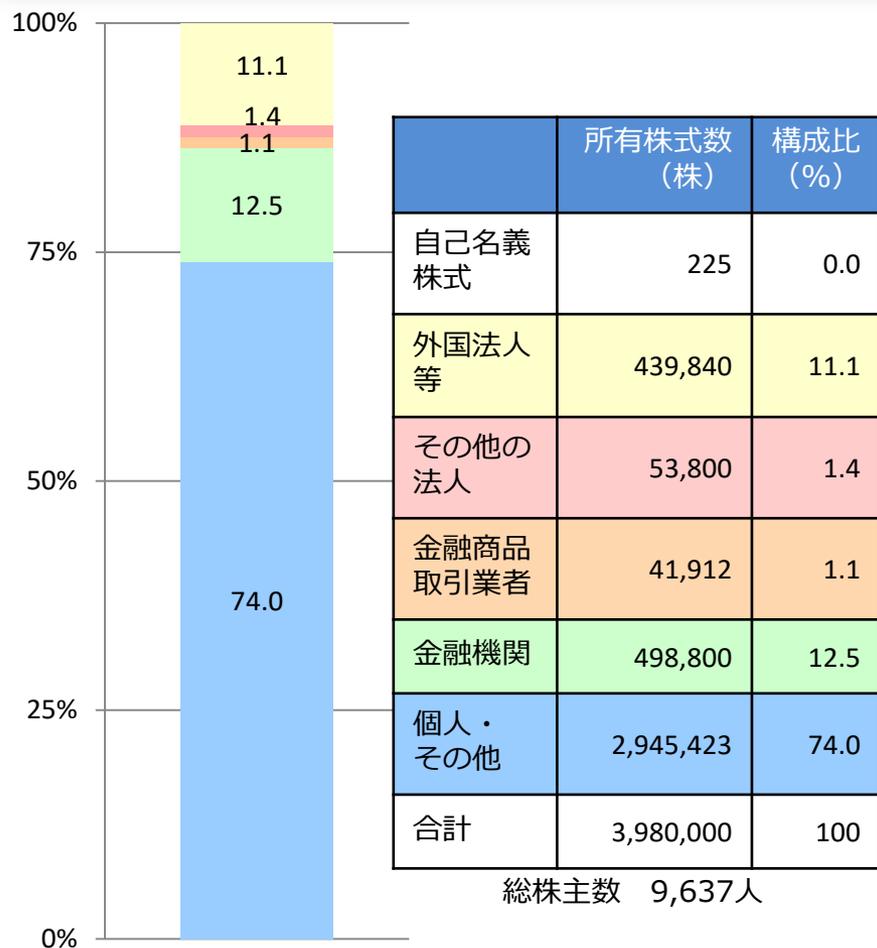
株主優待制度

2020年3月末(中間期末)の株主様に、「浸みわたる水素水」(株式会社アビストH&F製造)を、以下のとおり贈呈させていただきます。



保有株式数 (2020年3月末株主名簿)	「浸みわたる水素水」贈呈数 (500ml×30本=1ケース)
1,000株以上	5ケース
200株以上 1,000株未満	2ケース
100株以上 200株未満	1ケース

総株主数 9,637人(2020年3月末)



【株主名】	【所有株数】	【持株比率】
進 勝博	650,000株	16.3%
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDEIITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	260,000株	6.5%
ABIST社員持株会	232,700株	5.9%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	152,000株	3.8%
大宅 清文	100,000株	2.5%
日本生命保険相互会社	100,000株	2.5%
小林 秀樹	82,000株	2.1%
進 顕	75,000株	1.9%
進 里江	75,000株	1.9%
大宅 ヤイ子	60,000株	1.5%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	60,000株	1.5%

主な株価指標

	当社株価指標		東証1部平均(※)
株価	2020年8月20日終値	2,755円	-
発行済株式数	本資料作成日現在	3,980千株	-
時価総額		10,965百万円	-
EPS(一株当たり利益)	2020年9期(計画)	215.59円	-
BPS(一株当たり純資産)	2019年9期末	1,541.81円	-
配当金	2020年9期(計画)	102.00円	-
PER(株価収益率)	株価÷EPS(計画)	12.78倍	23.87倍
PBR(純資産倍率)	株価÷BPS(直近期末)	1.79倍	1.21倍
配当利回り	配当金(計画)÷株価	3.70%	1.76%
ROE(自己資本利益率)	PBR÷PER	14.01%	5.07%

(※)東証1部平均の株価指標は2020年8月20日現在、PBRは実績ベース

お知らせ

今回、コロナウイルスの感染状況を鑑み、会社説明会を中止させて頂き、資料配布のみと致しました。

例年、会社説明会の場で質疑応答の時間を設けさせて頂いておりましたが、今回はそのような場を用意できませんので、ご質問がありましたら、広報部にて対応させて頂きたいと存じます。

ご質問事項がございましたら、下記アドレスにメールをお送りいただきますようお願いいたします。

送付先：pr@abist.co.jp







当社ホームページのご案内 <https://www.abist.co.jp>

※当社IRサイトでは、株主・投資家の皆様に様々な参考情報をご提供しておりますので、是非ご参照ください。



本資料は、当社の会社内容に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は作成日現在のデータ等に基づいて作成されており、本資料に記載された意見等は、資料作成時点の当社の判断によるものです。当社は、本資料に記載した情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

(本資料に関するお問い合わせ先)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀三丁目36番1号

株式会社アビスト 広報部

TEL 0422-26-5962 E-mail pr@abist.co.jp

